

令和7年度 矢切地区意見交換会のテーマについて

（団体名） 下矢切若葉町会

（件名） 町会で設置している工作物等のメンテナンスに必要な費用の一部補助について

（具休内容）

私どもの町会では町会内に町会掲示板・防犯灯・消火器・ゴミ置き場等を設置しているが、これまでは町会員から一世帯あたり月額 300 円の会費を集め、町会費の中で修繕や交換等の経費を賄ってきた。

経年劣化が著しく、まとまった数量のある消火器を保管する箱を交換しなければならない場合や、集会所の防水メンテナンスや防災倉庫の修繕等でも高額のコストが必要となる。その費用を規模の小さな町会では負担していくことが困難となってきた。

こうしたメンテナンス費用について市で援助することはできないかと考えている。また、すでにある補助金に関しても近年の物価高騰と合わせ補助額を増額いただきたい。

町会の経費に対する市の援助と、今後の市の考え方について伺います。

（回答）

- 挙げられた項目に対し、掲示板については「掲示板新設等補助金」、防犯灯については「防犯灯設置費補助金・防犯灯維持管理費補助金」、集会所の防水メンテナンスについては「集会場新築等補助金」、消火器を保管する箱や防災倉庫の修繕については「自主防災組織補助金」の補助金をすでに設けてございます。
- ゴミ置き場等については補助金がありませんが、資源ごみの回収量に応じ交付させていただく「リサイクル活動奨励金」がございますのでご活用いただければと存じます。また、公共施設で不要になったネットをリサイクルしてごみ集積所用のネットとして活用いただくことを検討しております。加えて、埼玉県の一部で導入されているもので、広告付きの集積所を民間会社が設置、維持管理し、自治会等へそれを無償提供する「広告型ごみステーション」という仕組みがあります。こちらについても、本市においても活用できないか、研究してまいります。
- 掲示板においては、掲示作業の負担軽減や掲示物の保護のため、マグネットボードや扉付にする事例が増えておりました。これらのケースでは、工事費用が高くなる傾向があり、町会・自治会の金銭的負担を軽減するために掲示板新設補助金の上限額を令和5年度に50,000円から100,000円に増額をおこないました。
- 防犯灯においても、毎年防犯灯設置費用の最新の見積を業者に提出してもらい、適正な補助額となるように検討・変更を行っています。令和6年度には、物価高騰の影響により防犯灯の工事費用が上昇しており、町会負担が大きくなっていたことから、より実態に即した支援を行うために補助上限額の増額

をおこないました。

- また、令和7年度で終了する防犯灯のリース事業においても町会・自治会の皆様の「防犯灯交換に係る費用負担の軽減」や「リース期間中の維持管理に係る負担軽減」等のメリットがございますので、現リース契約終了後も、リース事業を実施する方向で検討を進めております。
- 近年の物価上昇が町会・自治会の運営において大きな負担となっている事は市としても認識しております。今後も実態を把握すべく、町会・自治会の皆様の生の声をお聞かせ願いながら、支援・サポートに反映し、より良い方向に向かえるよう検討を続けてまいります。

（回答課）市民自治課